

那須烏山

— No.110 —

2014
November

11

Public Relations Magazine
of Nasukarasuyama City

ねんりんピック栃木2014那須烏山……	2
市内各地で防災訓練……	5
市文化祭……	6
市表彰式・市歌初披露……	7
第10回市民運動会……	8
まちの話題……	14
インフォメーション……	16

市イメージキャラクター



やまどん ここなす姫 からすまる



ねんりんピツク栃木2014那須烏山

俳句交流大会で455句が投句



たくさんの俳句愛好家が集い、笑顔あふれる大会となりました。

吟行会場：龍門の滝。

第27回全国健康福祉祭とちぎ大会「ねんりんピツク栃木2014」が、10月4日(土)から7日(火)にかけて栃木県を会場に開かれ、60歳以上を中心に、あらゆる世代の人々が交流を深めました。

県内では、14市6町で24種目のスポーツや文化の交流大会が行われ、4日間で約41万人の選手・観客が訪れました。

本市でも、10月5日(日)に俳句交流大会が開かれ、全国各地から多くの人々が大会に参加しました。今月号では、その様子を紹介します。



①蛇姫様ゆかりの地「太平寺」を散策 ②吟行会場の「矢沢のヤナ」 ③句を詠む参加者 ④思い思いの句を投句 ⑤そばや鮎の塩焼きなどが振る舞われた「おもてなしコーナー」 ⑥地酒を試飲 ⑦那須烏山市の特産物に興味津々 ⑧ここなす姫たちが「ねんりんとちまる体操」を披露。

その後、歓迎アトラクションでは、市イメージキャラクターたちによる、ねんりんとちまる体操が披露され、会場を盛り上げました。

その後、歓迎アトラクションでは、市イメージキャラクターたちによる、ねんりんとちまる体操が披露され、会場を盛り上げました。

10月4日(日)、宇都宮市の県総合運動公園で開かれた開会式で幕を開けた「ねんりんピック栃木2014」。台風の影響で一部の交流大会が中止になる中、本市では、5日(日)、烏山城カントリークラブを本会場に俳句交流大会(実行委員会主催)が行われました。

早朝から雨が降りしきる中、午前9時から受付を開始し、230人の俳句愛好家が、吟行会場の「龍門の滝」や「矢沢のヤナ」をシャトルバスなどで巡りました。参加者たちは、雨にけむる景色の中にあらずみ、その情景を思い思いの句で詠みました。

午前11時半の投句締切間際になると、本会場で来場者をもてなすため設けられた「おもてなしコーナー」では、「八溝そば」や「鮎の塩焼き」、「赤飯」が振る舞われ、美味しそうな匂いに大勢の人が押し寄せ、地域の名産に舌つづみを打っていました。また、市観光協会による本市の特産品や島崎酒造による地酒の販売なども行われたほか、健康チェックなどができる健康づくり教室など、様々な催しで交流を深めました。

そして、午後0時半からの開始式では、大会会長の 大谷 龍雄 市長が、「大会を通して、本市の文化や歴史を堪能してほしい。心を込めたおもてなしをするので、思い出をたくさん作ってください」とあいさつ。そのほか、佐藤昇 市議会議長や木島松 篤 県俳句作家協会会長が歓迎のことばを述べました。

また、選者を代表し、現代俳句協会副会長の 高野 ムツオ 先生が、「今日は雨が降っていますが、雨の名句に出会えることを楽しみにしています」と話していました。

続く記念講演では、曾祖父に俳人「高浜 虚子」を持つ、(公社)日本伝統俳句協会常務理事の 坊城 俊樹 先生が、「虚子俳話」を講演。虚子が残した言葉を紐解きながら、「俳句はセンスではなく、長く続けること。そして、自らの目で見たいものそのままを表現することが大切」と語りかけました。

午後2時ごろから行われた表彰式では、17人の選者が当日投句された455句の中から選んだ大会会長特賞や入賞句を発表。選句した(公社)日本伝統俳句協会副会長の 大久保 白村 先生は、「いろんなとらえ方があって面白かった」と選評しました。また、最優秀の大会会長特賞には、足利市の 石川 定子 さんが投句した「櫃の実や日差し

当日向上位入賞者

■大会会長特賞

榎の実や日差し届かぬ姫の墓
足利市 石川定子

■選者特選賞

・鈴木貞雄 選
那珂川の鼓動足裏に下り築
宇都宮市 湯澤久美子

・嶋田麻紀 選

榎の実や日差し届かぬ姫の墓
足利市 石川定子

・鶴見一石子 選

山晴れて怒涛の如く鮎下る
那珂川町 星健彦

・大久保白村 選

榎の実や日差し届かぬ姫の墓
足利市 石川定子

・大輪靖宏 選

下り築水の匂ひの濃くなりぬ
栃木市 柴山要作

・河野美香 選

船酔ひの心地や下り築に乗り
宇都宮市 平野暢行

・高野ムツオ 選

刈田いま祈りのごとく雨降り
栃木市 増山ちさ

・小林貴子 選

ゆつくりと陣を狭めて下り築
宇都宮市 中世古道子

・和田浩一 選

山塊に地震の傷跡草紅葉
宇都宮市 西里満喜子

・大嶋邦子 選

鮎落つて那須の山河は静かなり
東京都練馬区 立松修治

・大高松竹 選

万象の影曳き絞る下り築
宇都宮市 加藤多美子

・大豆生田伴子 選

下り築あを身をち貰けり
宇都宮市 森戸光子

・桑原まさ子 選

秋滝の火焰の如き飛沫かな
大田原市 中村均

・斎藤由美子 選

くろがねの大河を絞る下り築
さくら市 秋葉咲

・関根登 選

下り築水のくすぐる土踏ます
宇都宮市 大橋栄治

・高砂子三知代 選

雨は矢に与一の国の下り築
那珂川町 和泉澄雄

・伏木ケイ 選

秋鮎の命生簀に放りけり
那須烏山市 久郷紅楓



選者により厳正な審査が進められる。



坊城先生による記念講演。



募集句、当日句それぞれ行われた表彰式。

※以下の入賞者は、市ホームページ等でご覧ください。

届かぬ姫の墓」が選ばれ、大谷市長から賞状と那須烏山市の特産品が手渡されました。
そのほか、今年4月から2ヶ月間募集した句の入選者の発表、(公社)俳人協会副会長の今瀬剛一先生による選評も行われました。募集句表彰では、14人の選者が「高齢者部門」、「一般部門」、「ジュニア部門」の中から選んだ投句者それぞれに木島会長から賞状などが贈ら

れました。
最後には、無事に閉会式も終え、本市での大会に幕を引くとともに、来年開催される山口県へとバトンが引き継がれました。
◇ 募集句選者を務めた、栃木県俳句作家協会会長の木島松穹先生が、10月25日に逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、ご冥福をお祈りします。

親子3世代で参加

お見事！！ 4人中3人が入賞果たす



南2丁目の橋本由紀子さん、娘の橋本里恵さんと山田真紀さん、孫の山田里乃さんのうち、3人が当日句で入賞を果たしました。

もともと俳句を詠むのが趣味の由紀子さんですが、娘さんやお孫さんは俳句を詠むのが初めての挑戦でした。入選を逃してしま

った真紀さんは、「悔しかった…」と話していましたが、俳句の世界を親子3世代で味わえたことの喜びが4人の表情から伝わってきました。

市内各地で防災訓練

非常時に備え意識高める

自治会で組織された自主防災組織の防災訓練が、那須烏山消防署と連携のもと、横枕・月次・曲田・大桶上地区で行われました。そのなかから、一部をご紹介します。



横枕地区自主防災会では、9月28日(日)、設立後、初めて本格的な避難訓練が行われ、地域住民など約100人が参加しました。

訓練では、まず土砂災害発生を想定した避難訓練が行われ、各班に分かれた地域住民が、避難経路や要支援者の避難行動を支援する体制の確認をしつつ、消防団の誘導に従い旧やまびこの湯駐車場へと避難しました。



【横枕】上:子どもたちが消防士になりきっての放水体験/下:消火器の使い方を再確認。

その後、避難訓練会場では、会場周辺の林野火災を想定し、消防署、消防団、地域の支援団、消防団OB会が連携しながら放水訓練を行ったほか、煙体験訓練や子どもや高齢者を中心とした消火器体験訓練を行いました。

横枕自治会長の萩原光男さんは、「横枕では、川や沢の氾濫がいつ起こるか分からない。速やかな対応ができる体制づくりを努めたい」と話していました。



月次地区自主防災会では、10月5日(日)、矢崎部品株式会社栃木工場グラウンドで同会社協力のもと、地域住民約200名が総合防災訓

練に参加しました。

同会では例年、各種防災訓練を自治会をあげて開いています。今年は、大規模な地震を想定した避難訓練を実施。班ごとに分かれた避難では、地域住民が器材を使用し要救助者を運ぶなど、本番さながらの避難訓練となりました。

その後は、矢崎部品工場北西側山林の火災を想定した放水訓練が行われ、矢崎自衛消防隊、消防署、消防団が連携を確認したほか、地域の女性消防団第2部による初めての放水を披露しました。

また、炊き出し訓練や消防署員によるマテック救急寸劇、女性消防団第2部による救急法訓練、



40ミリホースを使った放水訓練なども行われ、地域住民が積極的に参加しました。

月次自治会長の小鍋恒男さんは

「これからも、防災意識の向上を目指して、訓練を行い連携を強化していきたい」と話していました。



【月次】上:消防隊員によるマテック救急寸劇/下:女性消防団第2部による初めての放水を披露。

市地域雇用創造協議会×ハローワーク那須烏山 合同就職説明会・面接会を開く

市地域雇用創造協議会では、ハローワーク那須烏山と共催で、第2回「那須烏山市合同就職説明会・面接会」を10月10日(金)、風月カントリー倶楽部で開きました。

これは、地域の特性を生かし、雇用を生み出す「実践型地域雇用創造事業」の一環で、市をエリ

アとする説明会はめずらしい取り組みです。

当日は、市内の建設業や老人福祉・介護事業、印刷業など18の事業所が参加し、約50人の求職者が説明を受けたり、面接をするなど地域の就職促進に一役買いました。

説明を受ける参加者たち。



芸能大会や作品展を開催

市民による芸術・文化活動の発表の場となる市文化祭(同運営委員会主催)が、10月25日(土)、26日(日)を中心に烏山公民館や烏山体育館などで開催され、多くの市民が芸術・文化の秋を楽しみました。

体育館内では、25日から2日間、市民及び文化協会員から募集した文芸や書、美術、工芸、写真、華道、山野草、さらに市内保育園、幼稚園、小中学校、高等学校、特別支援学校からのさまざまな作品が展示され、たくさんの人々が足を運びました。また、書道、デザインプルアート、押し花、紙バンドづくりの無料

体験コーナーでは、指導を受けながら、熱心に作品づくりをする参加者がみられました。

一方、烏山公民館では、25日、民謡、舞踊、詩吟などの芸能大会が行われ、日頃の練習の成果を發揮する姿に、観覧者からは盛大な拍手が送られました。また、翌日には本格的なお茶会が行われ、そのおもてなしに会場を訪れた人々は満面の笑みを浮かべていました。

そのほか、菊花、盆栽、小菊盆栽などの園芸展や囲碁大会など、多くの催し物がそれぞれの会場で行われました。



作品に見入る来場者。



芸能大会で日頃の練習の成果を發揮。

川柳大会に愛好家集う



多くの愛好家に参加した大会。

南那須川柳会(篠崎酔月会長)では、10月13日(日)、保健福祉センターで第36回那須烏山市文化祭「川柳大会」を開き、県内外から川柳愛好家50人が参加しました。遠方からは、千葉県船橋市から20年以上参加している人もいました。

当日は、事前に出された宿題として、「役所」「満員」など6題のほか、その場で出される席題には、「広い」と「目」が出題され、参加者は頭をひねりながら句を詠みました。

午後からの披露では、各題の選者が投げられた句を順に読みあげました。参加者は、会場で披露されたそれぞれの川柳を楽しみ、作品が読み上げられるたびに言葉に込められた「粋」の世界に引き込まれ、笑いや感嘆の声があがりました。

市内3中学校で

華やかに文化とスポーツの祭典

市内の3つの中学校で、文化やスポーツの祭典が開かれ、保護者や地域住民など多くの人々が楽しみました。特に、来年度、統合する下江川中と荒川中では、最後となるため記念イベントなどが催されました。

◇ 10月4日(土)、荒川中で「荒川祭」が開かれました。3学年6クラスで競う合唱コンクール、有志によるダンスやコントなどが披露されました。

そのほか、最後の荒川祭を記念し、同校の同窓生と在校生が一緒に歌うイベントも行われました。イベントでは、同校の校歌と縁が深く、音楽教諭として勤務した森豊さん(中出)を指揮者に、参加者たちは、懐かしい思い出にふけながら「校歌」や「ふるさと」を歌いました。

◇ 10月11日(土)、下江川中で「愛江祭」が開かれました。午前中は、玉入れや大縄跳びなどのスポー

ツ大会、午後には、クラス合唱や吹奏楽部による発表で盛り上げをみせました。

また、後夜祭では、志鳥出身で下江川中卒の柴野真理子さんがボーカルを務めるユニット「LOOPCHILD」によるスペシャルライブが行われ、同祭に華を添えました。生徒たちは、曲を聴きながら手拍子をしたり、一緒に歌ったりと最後の愛江祭を楽しみました。

市表彰式11人と3団体を表彰 完成した市民の歌も初披露

市では、10月26日(日)、烏山公民館で「平成26年度那須烏山市表彰式」を開きました。

今年の表彰式では、それぞれの分野で活躍する人々に特別功労表彰や市政功労表彰等が贈呈されました。受賞者代表の塩谷眞悦さんは、「このような賞をいただき感謝します。これからもまちづくりに少しでも貢献していきたい」と、謝辞を述べました。

その後、昨年から市歌制定委員会が中心となり制作してきた市歌の完成発表会が行われました。最初に大谷範雄市長が、「曲名は親しみやすくと思いが込められた那須烏山市民の歌。ぜひ、市民と一緒に愛唱し、全国へ発



大谷市長から表彰状が手渡される(市表彰式)。



市民コーラスグループによる合唱(市民の歌発表会)。

信していきたい」とあいさつ。次に同委員会の森豊委員長から、市歌制定までの経過報告の後、市長から作詞した南ます子さん(滋賀県、作曲を手がけた栃木県オペラ協会理事を務める荻野治子さん(宇都宮市)に感謝状と記念品が贈呈されました。

発表会では、作曲者である荻野さんの指揮のもと、市内5団体のコーラスグループによる大合唱団が、その美しい歌声とともに市歌を披露しました。

なお、市表彰式の受賞者は次のとおりです。(敬称略、()内は功績)

■特別功労表彰：▽塩谷眞悦(学校内科医) ▽石川秀忠学

校歯科医)

■市政功労表彰：▽薄井利男(行政区長) ▽小倉孝子(民生委員児童委員) ▽岡崎シゲ子(民生委員児童委員) ▽熊田親男(社会福祉協議会役員) ▽山村保(農業委員会委員) ▽水井



④



①



⑤



②

同じく11日(日)、烏山中で文化祭が開かれ、郷土芸能部や吹奏楽部が日頃の練習の成果を発表したほか、合唱コンクールなどが行われ、美しい音色が響きわたりました。



③

【荒川中】①歌声が響く合唱コンクール
②同窓生と在校生が一緒に校歌を歌った特別イベント【烏山中】③日頃の練習の成果を発表【下江川中】④盛り上がったスポーツ大会 ⑤LOOPCHILDによるスペシャルライブ。

守(猟友会南那須支部烏山分会長) ▽山田廣明(体育協会役員)

員)

■善行表彰：▽桜りん会 本田實恵子(社会福祉向上のために多額の寄付)

■まちづくり貢献賞：▽大久保

忠旦(まちづくり研究会会長)

▽井本喜良(富士見台工業団地工場連絡協議会長) ▽中山かぼちゃ部会(特産品の中山かぼちゃの振興及び品質向上) ▽なすからすやま風の顔らんど(青少年の健全育成)

今年も烏山地区は横枕、南那須地区は藤田が優勝

第10回市民運動会



第10回市民運動会が、10月12日

(日)烏山地区と南那須地区で開かれ、約3000人の市民がさわやかな汗を流しました。

大桶運動公園を会場に行われた烏山地区の運動会では、自治会や旧大字単位に分かれた20チーム約2000人がスポーツを通して交流を深めました。

紅白玉入れや輪投げ、ミックスリレーなど8種目で競技し、横枕が3大会連続で優勝しました。

緑地運動公園で開かれた南那須地区の運動会では、12の支部を代表する選手約1000人が白熱した戦いを繰り広げました。

大会では、二人三脚や綱引き、男女混合リレーなど10種14競技が行われ、藤田が6連覇を果たしました。

また、平成26年度那須烏山市体育協会表彰も行われ、スポーツ振興などに貢献した市民7人に表彰状が送られました。受賞者と大会結果は、次のとおりです。(敬称略)



①熱戦が繰り広げられる烏山地区の二人三脚 ②力がこもる南那須地区の綱引き ③このあとボールは…カメラマンに… ④大人数で出たもの勝ちの4色まり入れ ⑤正確さとスピードが肝心の湧水リレー ⑥快走！ ⑦なかなか割れない、けつ圧風船割りリレー ⑧一斉にスタート ⑨バトンタッチ！ ⑩息を合わせて ⑪接戦！結末は表紙をご覧ください… ⑫あとは任せた！



上..拾って！投げて！
下..そーと、そーと。



▲上:オーエス!オーエス!
下:1位の喜び。



- ▽南那須地区
 ①藤田(76点) ②三箇(63点) ③南部(59.5点) ④こぶし台(57.5点)
 ⑤中央南(48点) ⑥鴻野山(45点)
 ⑦中央北(42点) ⑧川井(39点) ⑨曲畑(34点) ⑩志鳥(33点) ⑪八ヶ代(33点) ⑫熊田(32点)

※同点のチームについては、要項に基づき順位を決定しています。

- ▽鳥山地区
 ①横枕(46点) ②金三(43点) ③大木須(39点) ④野上(38点) ⑤大桶・白久(35.5点) ⑥日野町(35点) ⑦小水須(35点) ⑧下境・小原沢(33点) ⑨滝田(32.5点) ⑩鍛冶町(31.5点) ⑪大沢(31点) ⑫金井(31点) ⑬神長(28点) ⑭谷浅見(27.5点) ⑮興野(27点) ⑯城東(26点) ⑰元田町(26点) ⑱泉町(25点) ⑲宮原(21点) ⑳南(16点)

■大会結果

▽鳥山地区

- ▽体育協会表彰
 ・山田廣明(金井・市体育協会役員として永年にわたり活躍)
 ・鈴木叶(野上・市体育協会役員として永年にわたり活躍)
 ▽体育奨励賞
 ・澤村三男(横枕・ソフトボール)
 ・生魚正行(下境・支部役員)
 ・森芳子(南・ベタンク、輪投げ等)
 ・五味測正行(那珂川町・水泳)
 ・大谷恵一(上境・市体育協会役員として永年にわたり活躍)



①歯を食いしばって ②絶妙なバランスで… ③まっすぐ安全運転をお願いします ④最後まで何が分からないムカデ競争 ⑤おみやげなあに?に子どもたちが大集合 ⑥スタートダッシュ ⑦ゴール! ⑧いち・に・いちに ⑨ナイスショット連発のグラウンド・ゴルフ ⑩各チームのベテランが集う“トマリ”よければすべてよし ⑪コーナリングもスムーズに ⑫追いつけ追い越せ! ⑬ぐちゃぐちゃぐちゃ〜…失敗。

